

外国語での Web ページの作成におけるポイント

はじめに

主に Web ページで外国語（ここでは中国語）を使用する際に注意するポイントを示します。ポイントになるのは、フォントの使用・指定についてです。言語に対応する適切なフォントを使用しなければ、見難い文字が表示されることとなります。Web ページを見るであろう相手にとって、文字を見やすくなるヒントを示します。

Web ページの用意

ここでは、Web ページ作成するために Google の Blogger を使用します。Google のサービスには、「サイト」という Web サイトを作成するものがありますが、スタイルシート（Web ページの見栄えを制御する仕組み）が使用できないので、ここでは使用しません。また、簡単に Web ページを作成できる点で便利でしょう。

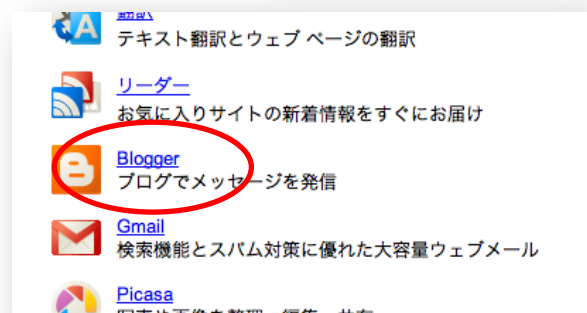
Blogger の作成方法

Google アカウントを取得済みであることを前提に進めます。

Google のページから、「もっと見る」
→「さらにもっと」をクリックします。



サービスのリストから、「Blogger」
をクリックします。



「新しいブログ」 ボタンをクリック
します。

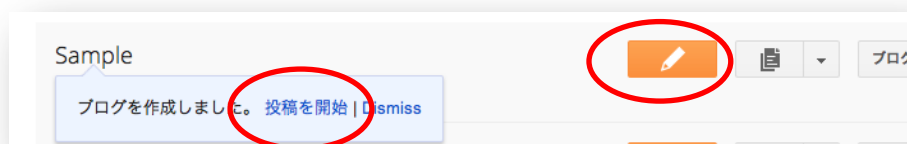


ブログのタイトルとブログのアドレスを入力します。アドレスは、わかりやすいものを入力してください。また、テンプレートからブログの見た目を選択してください。

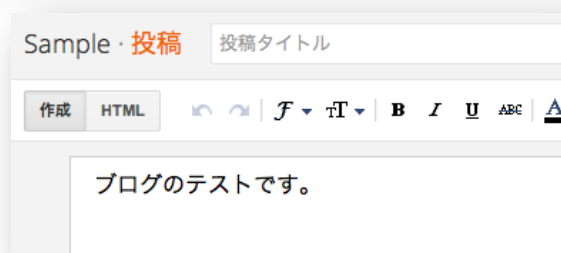
「ブログを作成」ボタンを押せば、ブログの作成準備が完了します。



投稿を開始します。

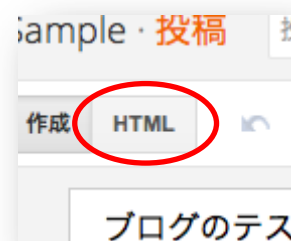


文書の編集画面になります。「公開」ボタンを押して完了です。



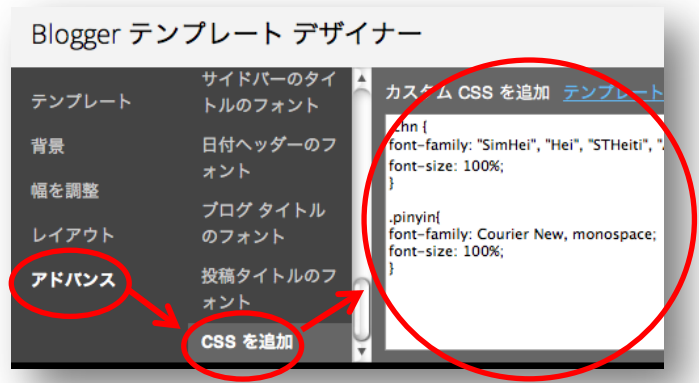
HTML でのフォント指定

ブログの文書を編集する際に「HTML」というボタンを押すと、Web ページを構成する本来の記述方法に切り替わります。



ブログの「アドバンス」→「CSS を追加」で、以下のように記述します。





```
.chn {
font-family: "SimHei", "Hei", "STHeiti", "STHeitiSC", "Arial Unicode MS", sans-serif;
font-size: 100%;
}

.pinyin{
font-family: Courier New, monospace;
font-size: 100%;
}
```

この記述の意味は、以下の通りです。

.chn は、"chn"という名前を後に続く内容で定義します。

font-family 以下で使用するフォントを羅列します。左から優先的に存在しているフォントが適用されます。

ブログの文書では、先ほどの定義を用いて以下のように指定します。対象となる語句を""と""で挟むのです。ただし、""では"class="に続けて上で定義した名前を指定します。これで、対象となる語句のみが指定したフォントで表示されるようになります。この入力は、必ず「英数半角」で行ってください。

例を以下に示します。

中国語：售货	←	中国語：售货
ピンイン：shòuhuò	←	ピンイン：shòuhuò
日本語：販売		日本語：販売

左右を比較して、中国語の部分とピンインの部分が異なることがわかります。左は、フォントに中国語フォントを指定し、右は指定をしていません。

```
中国語：<span class="chn">售货</span><br />
ピンイン：<span class="pinyin">shòuhuò</span><br />
日本語：販売<br />

中国語：售货<br />
ピンイン：shòuhuò<br />
日本語：販売
```

ちなみに、「
」は改行させるために必要なものです。

多言語表示させる場合、対応する言語のフォントを指定すると美しく読みやすい文字が表示される。一つの言語表示であっても、語句によって違うフォントを指定する場合も同じです。

また、上記で示したフォントは例です。どのような場合でもこの指定でいいとは限りません。パソコン上で参照するのであれば、”SimHei”, “Hei”, “STHeiti”, “STHeitiSC”の順番でいいのではないのでしょうか。この場合、ゴシック体に似たフォントになります。

「」を使用してもいいのですが、用いる箇所が多いと非常に見難くなり、入力ミスが増えるので、可能であれば使用は避けたほうがいいでしょう。

文字コードとは

荒っぽい言い方をすると、文字にコンピュータで使用できるように番号をつけたものです。元々文字コードは、一つの国の中で使用する国内向けのものです。たとえば、日本語は日本、中国語は中国といったようにです。しかし、1つのページに多言語を使用することが多くなり、多くの言語の文字を統一的に扱う Unicode の必要が生じてきたのです。Unicode は現在も拡張されており、Unicode 6 では絵文字も追加されるようになりました。

ただ注意する点として、Unicode では統一文字といって外形がよく似た文字を一つにされてしまっています。たとえば、日本語で「海」は Unicode では「海」に統合されています。ですので、日本語フォントには「海」が表示される文書を、中国語のフォントに変更しただけで文字が変わります。Wordなどで、日本語フォントで「海」と入力し、その文字を中国語フォントに変更すると上記のようになります。ぜひ、試してください。このことから、言語に合ったフォントの指定が重要であることがわかります。

フォントとは

フォントは、文字コードに対応する文字の見えを決定しているものです。例えば、同じ「あ」でも手書きのような「あ」もあれば、教科書でみるような「あ」もあります。同じ「あ」であり、文字コードも同じですが、フォントの指定によって見えが異なります。

また、システムが異なるとインストールされているフォントが異なるため、フォントの指定には工夫が必要です。

まず、同じ Web ページの文字でもシステムが違っていると見た目が異なることを示します。

中国語：售貨
ピンイン：shòuhuò
日本語：販売

中国語：售貨
ピンイン：shòuhuò
日本語：販売

Windows の場合が左図、Mac OS X の場合が右図です。同じもの表示していますが、見た目が異なっていることが確認できます。

フォントの例

中国語の文字を表示する場合には、どのフォントを指定すればよいのでしょうか？システム毎でフォントは異なります。以下は、Windows と Mac OS X 及び iOS (iPhone や iPad のシステム) にそれぞれインストールされている中国語フォント (主に簡体字) です。

SimSun ... 中国語での明朝体に相当(Windows)

SimHei ... 中国語でのゴシック体に相当(Windows)

Hei ... 中国語 (簡体) でのゴシック体に相当(MacOSX)

Heiti SC ... 中国語 (簡体) でのゴシック体に相当(MacOSX 10.6)

Hiragino Sans GB ... 中国語でのゴシック体に相当(MacOSX 10.6)

Kai ... 中国語 (簡体) でのゴシック体に相当(MacOSX)

STHeiti ... 中国語 (簡体) でのゴシック体に相当(MacOSX 10.4)

STHeitiSC ... 中国語 (簡体) でのゴシック体に相当(iOS 5)

HTML とは

インターネット上で文書を公開する際に、文書をどのように記述・表示するか記述するものです。タグと呼ばれるを、文書中の文字などを囲むことで記述・表示の制御を行います。

普段見ているページ上で、マウスの右ボタンを押してコンテキストメニューを出すと、「ソースを表示」という項目がありますので、それを選ぶとみているページがどのように HTML (XHTML?) で記述されているか見ることができます。

追記

Web ページを作成する際には、PC だけでなくモバイル機器からのアクセスも考えないといけなくなってきました。基本的にモバイル機器のフォントは、記憶容量や画面サイズの問題から明朝体は採用されず、ゴシック体になると考えてください。もちろん、明朝体が含まれているものもあります。そのことを想定して、フォントの指定をするとよいでしょう。

参考資料

Unicode: <http://www.unicode.org/>

HTML: <http://www.w3.org/TR/html4/>

<http://wagang.econ.hc.keio.ac.jp/index.php?%E4%B8%AD%E6%96%87%E9%9B%BB%E8%84%B3>

Mac OS X 10.4 フォントリスト:

http://support.apple.com/kb/HT1538?viewlocale=ja_JP&locale=ja_JP

文字コード:

「プログラマーのための文字コード技術入門」, 矢野啓介, 技術評論社